

文化財研修講座

文化財課

令和4年度の文化財研修講座を終えて

県内の教職員や県民を対象とした文化財研修講座を行っています。文化財課の実施事業「かごしま文化財探訪」「かごしま文化財事典」「鹿児島県文化財保存活用大綱」の報告と開園20周年を迎える上野原縄文の森から「上野原縄文の森20年の歩み」「上野原遺跡の年代見直し」の講演を実施しました。

【報告】

かごしま文化財探訪

本県の文化財をテーマとした周遊モデルケースを設定し、県指定文化財等の魅力発信のための「歴史ガイドブック」やPR動画などが紹介されました。

かごしま文化財事典

鹿児島で生まれ育った若者が、鹿児島の歴史や伝統、文化、地域の特性などを理解し、ふるさとに誇りを持つ郷土教育の充実を図るために、事典を作成するとともに「子ども文化財セミナー」を実施することなどが紹介されました。

鹿児島県文化財保存活用大綱

文化財保護法の改正により、都道府県による文化財保存活用大綱の策定が制度化されたことを受けて策定されたことやこの大綱が本県の文化財の保存・活用の方向性を明確化することのなどが紹介されました。



開館20周年を迎える「上野原縄文の森」

【講演】

「上野原縄文の森20年の歩み」では、昭和61(1986)年の遺跡の発見・発掘調査について、上野原縄文の森が開園当時について、現在の上野原縄文の森の様子や様々な事業についての紹介がなされました。

「上野原遺跡の年代見直し」では、放射性炭素年代測定法などより年代を見直し、上野原遺跡は、9500年前としての遺跡の年代が1000年ほど古いことが解ったことなどが紹介されました。

【受講者のアンケートから】

- ・ 上野原縄文の森へ過去に行ったことがあったがまた行きたくなった。
- ・ 上野原遺跡が貴重な遺跡であることを、改めて知ることができた。
- ・ 年代測定の原理が解ったので、具体的な作業の方法が知りたくなりました。
- ・ 新しい研究に基づいた視点から、上野原遺跡の新しい知見を得ることができました。



「上野原縄文の森」と桜島

令和5年度文化財研修講座の御案内

日 時 令和5年8月8日(火)
午後1時30分～午後4時
(受付：午後1時から)

講座内容

報告「文化財としての食文化」について

県教育長文化財課指定文化財係 真鍋雄一郎

報告「かごしまの食文化事業」について

県教育長文化財課指定文化財係 眞邊 彩

講演「(仮称)文化財防災」について

鹿児島大学准教授 佐藤 宏之 氏

場 所 鹿児島県立図書館大研修室

定 員 100人

参 加 料 無料

※ 上記講座等の日程・申込等の詳細については、後日、県ホームページ(ホーム > 教育・文化・交流 > 文化・スポーツ > 文化財 > 文化財研修講座 >)に掲載する予定です。

<お問合せ>
鹿児島県教育庁文化財課指定文化財係
TEL:099-286-5355 FAX:099-286-5675
MAIL:siteibun@pref.kagoshima.lg.jp